

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営陸上競技場並びに津留運動公園有料公園施設（自由広場・テニスコート）						
	所在地	大分市西浜1番1号						
	設置目的	市民の体育及びレクリエーション等の用に供するため。						
	施設の建築年 （又は事業開始年）	昭和40年						
指定管理者	名称	大分リバースタジアム共同企業体（㈱グリーンフジタ・大分市陸上競技協会・㈱スポーツジョイ）						
	代表者名	㈱グリーンフジタ 代表取締役 井尾 文継						
	所在地	大分市中島中央2丁目2番25号						
指定管理業務の内容		①施設の使用許可に関する業務 ②施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③施設の維持管理及び修繕に関する業務 ④施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤あらゆる世代の市民の健康づくりの拠点に関する業務 ⑥その他、市長等が必要と認める業務						
料金体系		【トラックフィールド】（個人利用・1名1回） 小学生～高校生は60円、大学生・一般は140円 （専用利用・4時間以内） 小学生～高校生は6,600円、大学生・一般は8,580円 【トレーニングルーム】中・高校生は60円、大学生・一般は140円 【野球場】1時間310円 【テニスコート】1時間160円 等						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和4年4月1日～ 令和9年3月31日（5年間）			導入年度		平成20年度	
利用者数（単位：人）				R5年度 目標④	172,000		達成率 ①／④	106%
19年度② （直営時又は 制度導入1年目）	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	19年度比 ①－②	R4年度比 ①－③	
158,713	242,684	166,145	194,131	214,199	182,461	23,748	▲ 31,738	
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度3年（c）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 （a）－（b）	前指定期間比較 （a）－（c）	
63,170	60,092	60,092	60,092	60,000	60,000	▲ 3170	▲ 92	
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和5年度
		58	7			6		12

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組							
（1）施設の設置目的の達成							
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 令和5年度利用者数：目標 172,000人（令和元年度 254,000人、令和2年度 251,000人、令和3年度 245,000人、令和4年度 248,000人） 令和5年度利用者数：実績 182,461人（令和元年度 242,684人、令和2年度 166,145人、令和3年度 194,131人、令和4年度 214,199人） ○陸上競技場の改修工事に伴い目標人数を例年よりも低く設定したが、達成している。 ○事業計画どおり行われており、ホームページやSNSを利用した広報により、利用者数の増加に寄与している。							
（2）利用者の満足度							
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
②サービスの質や量は向上しているか。							
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
④利用者への情報提供が十分になされたか。							
【評価の理由】 ○利用者アンケートの利用者満足度の達成度「清掃・安全管理」54%（目標値80%以上）「職員の対応」77%（目標値90%以上）であり、「清掃・安全管理」は、施設の老朽化による満足度の低下が挙げられる。「職員の対応」については、目標値には到達していないが概ね高い評価を得られている。（実施方法：受付窓口にアンケート用紙を設置し、来場者へアンケート回答の協力やHPにアンケートページを掲載し依頼している。） （清掃・安全管理 令和元年度 66.6%、令和2年度 76.8%、令和3年度 66.7%、令和4年度 66% 職員の対応：令和元年度 81.6%、令和2年度 86.9% 令和3年度 82.4%、令和4年度 83%）							
2 効率性の向上等に関する取組							
（1）経費の低減等							
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。							
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【実績】 ○改修工事に伴い光熱水費が約1356千円減少している。（光熱水費 令和3年度：7,075千円、令和4年度：8,049千円） ○施設の維持管理において可能な限り職員が行い、経費削減に努めている。							
（2）収入の増加							
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 ○令和5年度の実績は、75,876,112円であった。 ○自主事業において、利用者ニーズに応じた内容の教室を実施している。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組							
（1）施設の管理運営の実施状況							
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。							
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。							
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。							
【実績】 ○多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置されている。 ○人権・同和問題研修や、個人情報保護研修を実施するとともに、心肺蘇生講習会や接遇研修も実施している。 ○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。							
（2）法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など							
①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。							
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。							
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。							
④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。							
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。							
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。							
【実績】 ○法令に基づき適正に運営されている。 ○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。 ○計画よりも多く支出している項目があるが、他の費用の削減に取り組んだことにより、適正な状況である。							

【総合評価】

【所見】
これまでの指定管理の実績を生かして、教室の開催時間や内容を利用者ニーズに沿った内容に変更するなどの取り組みを行い、利用者数確保に向けた取り組みを行っている。施設内の清掃や職員の対応にも高い評価を得られており、適正な施設運営がなされていると評価できる。
【今後の対応】
施設管理について、老朽化による修繕や施設の各備品の修理などが多くなっていることから、重大な事故・故障等の発生防止に向け、施設所管課と連絡を取りながら、入念な点検・計画的な営繕に努める必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・指定管理者による業務委託の際の見積合わせを適切に行い、引き続き経費の削減に努めていただきたい。 ・職員の人件費の管理を十分に行うことが望ましい。 ・テニスコート等の利用料金が低廉である点について、他自治体の状況や現在の管理運営費を加味して再検討する必要があると考える。 ・リピーターの獲得に向けて、自分がどれくらいトレーニングをしたかを見える化（ポイントカード等）するなど、個人に合わせた取組を行うことが望ましい。 ・支払い方法について、クレジットカード決済や、キャッシュレス決済導入を行い、市民サービスの向上や職員負担の軽減を図ることが望ましい。 ・自主事業のプログラムについて、毎年ニーズに応じて入れ替えを行うことが望ましい。 ・若年層のニーズが把握できていないので、アンケートの期間中、スタッフが声をかけて書いてもらうようにするなどの工夫を検討されたい。 ・施設の管理運営における課題が明確になるよう、アンケートの各項目の設問を見直す必要がある。	・共同企業体内への委託を実施する場合には、見積合わせを行い、チェック体制を強化いたしました。 ・毎月の報告にて人件費の確認・聞き取りを強化しました。 ・全庁的な使用料改定を検討しており、その動向をふまえながら検討しています。 ・リピーター獲得に向け、回数券の利用を推奨しています。 ・予約システムを通じたキャッシュレス決済等の導入を検討しています。 ・アンケート調査等から利用者ニーズを把握し、プログラムの入れ替えをしています。 ・若年層利用者に対して、スタッフによる声かけやインターネット回答の呼びかけを強化しています。 ・見直しを検討しています。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①モニタリング総合評価の評価が今後、今よりも向上させるための協議を指定管理者とされたい。

②利用者数の増加を図るため、施設利用料のキャッシュレス決済の導入の検討や自主事業の若年層のニーズの把握によるプログラムの入れ替えなどを検討されたい。